

令和6年度 まごころ認定こども園における
自己点検・自己評価

A:大変よい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			当園は子どもが減少している地域に位置しており、途中入園や第二希望以下での入園を広く受け入れている。多様な園児・保護者が集まるなかでそのすべての願いを反映し、特色を出した保育・教育を実施することは難しいと認識している。 そのなかで、教育・保育要領に基づいた基本的な保育・教育ができるよう、見通し・行動・振り返りを行いながら、保育者が協働し、子ども達の立場に立った保育・教育ができるよう努めていきたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。			○		
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。			○		
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画は、子ども達の姿を振り返りながら作成している。また、計画作成時や園の活動の実施において、教育・保育要領に基づいた作成や実施ができるよう心がけている。 保育の環境構成や素材・用具などについては、クラス担任が中心になり、時にはクラスを横断し保育者同士が話し合いながらより良い方法を模索している。
	(2) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいのか。		○			毎年度、保育者に意見を出してもらい、振り返りながら見直しを行っている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。			○		行事について、「保護者アンケート」のなかでは、コロナ禍以前のものに戻してほしいとの声があった。しかし、子ども主体の保育・教育、対話的な保育・教育、個別最適な学び、協働的な学びなど、現在、保育に求められていることを行事のねらいとし、さらに安心・安全にも配慮すると保護者の思いに完全にすることは難しく、苦慮しながら行事を計画・実施している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 見通し・行動・振り返りの体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。			○		

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○		組織運営は各規定に基づいて行っているが、保育者の声を取り入れ必要に応じて見直しをしている。職員配置や係の割り当てなどは必ずしも正解はないが、管理職同士で意見を交わしながら様々な検討をしている。 毎月、職員会議、ケース会議、給食会議などを実施し、クラスリーダー会議などその他必要な会議も必要に応じて実施している。しかし、その時間や回数が多く、負担になっているとの保育者の声もある。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○	
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○	

経営・組織	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			年齢別のクラス目標は毎月クラスごとに保育目標に基づきながら設定している。また、設定するうえで前月の子どもの姿などを振り返りながら行っている。異年齢活動の時間は、毎週数回、意図して設定している。また、異年齢活動を行ううえで、異年齢会議を実施、クラスを横断して保育者同士が子どもの姿や興味関心などを共有しながら実施している。その他、ケース会議、クラスリーダー会議、給食会議などを実施し、保育者同士で情報共有しながらチーム保育を実施している。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			保健目標を各クラスごとに毎月設定し、発達に応じた保健対策ができていていると考えている。各種訓練は計画にもとづいて実施することができている。健康・安全のための習慣等の啓発活動は保健だよりや家庭教育講座を通じて行っているが、頻度は多くなく、家庭に十分に伝わっていないと考えている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・拙域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○		
項目	内 容		評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
研究・研修	園内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。			○		保育者同士が子ども達の遊びの様子や興味のあることなどを語り合うことで子ども理解が進むよう取り組んでいる。しかし、現段階では研究と言えるところまでは深められていないと考えている。園内研修は配信型の研修などを活用しながら、子どもの人権や安全、衛生などに重点を置きながら実施している。しかし、計画的な実施は必ずしもできてい
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。			○		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○		
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			園長は研究会、講習会に多く参加している。一方で、現場保育者の園外研修参加の頻度は少ない。しかし、キャリアアップ研修や市の保育研究会の活動参加等を通して、ある程度の園外研修の機会は確保されていると考えている。令和4年度から福井市の私立園が主催となる公開保育研究会の活動に一部参加している。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○				個人情報取り扱いの同意書を毎年度はじめに保護者に書いてもらい、それにもとづいて個人情報を取り扱っている。また、個人情報を園外に持ち出すことを禁止するなど必要な措置をとっている。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
		(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。			○		
施設・設備		(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			設備の安全点検はチェックリストを用いて定期的に行っている。また、厨房機器など使用頻度が多いものについて業者の定期点検等も実施している。令和6年度は子どもが単独で園外に出るリスクを鑑み、タッチ式の自動ドアから手動開閉式のオートロックに改修した。
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○		
		(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理		(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。			○		経理規則にもとづいて適正に行っているが、漏れやミスが多く課題がある。

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た こ ど も 園 づ く り	施設間交流連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		園のある学区の小学校とは、計画にもとづいた保幼少接続のための連携会議、双方の訪問、子ども達の交流を行っている。 他のこども園や保育園との交流はほとんど行っておらず課題がある。 保育者同士の交流は、地域の研究会における分野別研修や他園の公開保育への参加を通じて行っている。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育置教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○	
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	地域の子育てフェスタに5歳児が参加し発表をした。また、田植えやしめ縄作りは地域の有識者を招いて行っている。 保護者会には、3～5歳児のクラスごとに保護者に企画をしてもらい、保護者が主体となった行事を行っている。 1歳児のクラスでは働く車に興味をもち、園バスでお出かけしノブカーを見にいった。急なことだったが警察署の方も快く対応してくれた。 地域の人材を発掘すること、子どもと地域の両方のためになる行事はなにかなど地域との連携には課題が多く、試行錯誤しながら取り組んでいる。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○	
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○	ふれあい動物園と家庭教育講座「食べるって楽しい！」を園児・保護者と地域の子育て家庭を対象に実施した。 保護者面談は、保育者のファシリテートのもと保護者同士で交流を深めながら悩みを共有するグループ面談と保育者と保護者の一対一の個人面談を実施した。 療育機関や福祉課等との連携は必要に応じて保護者の同意を得たうえで実施している。 保護者アンケートでは、「保護者の意見や声が園に届いていますか」との質問に対する回答が他の質問に対する回答に比べてややネガティブな結果となってお
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○		保護者に対して毎日のクラス活動の様子をクラスごとに保育ドキュメンテーションとして発信している。その他、毎月の園だより、年3回の保健だよりを発信や月数回のホームページでの保育情報の発信を行っている。 ふれあい動物園や家庭教育講座など地域の子育て家庭を対象にした行事については、地域の子育て支援センターを通じて発信を行った。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	第三者評価は実施していないが、必要性を感じていない。 保護者の意見は、年度末の保護者アンケートの結果をもとに、次年度の計画に反映させている。 施設外の保育の専門職の意見を取り入れるためミニ公開保育を実施した。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		